

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

教授法・FDシリーズ15 (通算431回)

2009年7月22日(水)

記録化による“省察”“改善”の実質化 —

授業・学習活動の進化とポートフォリオⅡ

～ティーチング (TP) /ラーニング (LP) の意義・役割と実際～

- 第1講 ティーチング・ポートフォリオの作成と活用方策
～能動的学習のためのシラバス/エビデンスによる授業改善～
- 第2講 ラーニング・ポートフォリオの作成と活用方策
～学生にとっての能動的学習の促進/エビデンスによる学習改善～

● 講師 ●

土持ゲーリー法一 氏 / 弘前大学 21世紀教育センター 副センター長
高等教育研究開発室長・教授

2009年7月22日(水) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時：2009年7月22日(水) 10:00～16:00
会場：剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線
「麹町駅」1番出口より徒歩4分
JR中央線・総武線
「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分
※会場の地図及び受講証を送付しますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代込) 38,000円(消費税込)
B. メディア参加(資料・カセットテープ送付) 39,000円(消費税込)

※ 参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007年から受講・修了証明書を発行しております。

キトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660

全ての口座名<(株)地域科学研究会>
※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
Tel: 03(3234)1231 / Fax: 03(3234)4993
URL : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>
E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

研究会参加申込書

教授法・FDシリーズ15
授業・学習活動の進化とポートフォリオⅡ

2009年 月 日

当日参加 メディア参加
(□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 〃 12:30	<p>I. ティーチング・ポートフォリオの作成と活用方策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ティーチングのフィロソフィーとポートフォリオの意義 <ol style="list-style-type: none"> (1) ティーチング・フィロソフィー（授業哲学）とその展開 (2) ティーチング・ポートフォリオとその要件 2. ティーチング・ポートフォリオの作成に何が必要か～教員の意識改革 <ol style="list-style-type: none"> (1) 予習復習を促すシラバス作り～指定図書課題とソクラテス・メソッド (2) 発言を促す授業形態～可動式円卓テーブルとグループ討論 (3) エビデンス（証拠資料）収集～テンプレートと同僚によるメンター 3. ティーチング・ポートフォリオの活用方策～中教審『答申』を踏まえて <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業改善の秘訣～「省察」による授業実践の「振り返り」 (2) 教育業績記録（TP）としての活用～FD義務化への対応 4. ティーチング・ポートフォリオ導入の条件と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 個人的取組みから組織的導入へ (2) 取組状況と今後の課題 5. アカデミック・ポートフォリオへの展開 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:30 〃 16:00	<p>II. ラーニング・ポートフォリオの作成と活用方策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ラーニング・ポートフォリオの役割 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新たな学生評価～NSSE「学生エンゲージメント」調査 (2) ラーニング・ポートフォリオの構成と範囲測定 2. ラーニング・ポートフォリオの作成に何が必要か～学生の授業への「関与」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自学自習の勧め方～図書館活用の「仕掛け」 (2) 能動的学習の促し方～質問を促す「仕掛け」 (3) エビデンス（証拠資料）収集～課題の出し方と学生によるメンター 3. ラーニング・ポートフォリオの活用方策～中教審『答申』を踏まえて <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習改善の秘訣～「省察」による学習過程の「振り返り」 (2) 学習実践記録（LP）としての活用～学びの「見える化」 4. ラーニング・ポートフォリオの導入方策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生への動機づけ～能動的学習を促す授業設計への転換 (2) 評価法（ルーブリック）の活用 (3) MIT方式試験による学生参画 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

土持ゲーリー法一氏のプロフィール

1945年、中国撫順市生まれ。1980年、コロンビア大学大学院ティーチャーズ・カレッジ（比較教育学専攻）で教育学博士号取得。1990年、東京大学大学院で教育学博士号取得。

現在、国立大学法人 弘前大学 21世紀教育センター 副センター長、高等教育研究開発室長・教授。

[最近の著作]

『ラーニング・ポートフォリオ — 学習改善の秘訣』東信堂、2009年。

『ティーチング・ポートフォリオ — 授業改善の秘訣』東信堂、2007年。

『戦後日本の高等教育改革政策 — 「教養教育」の構築』玉川大学出版部、2006年。